



報道関係各位

2026年6月期第1四半期決算説明動画 書き起こし

株式会社ブシロードの木谷です。2026年6月期 第1四半期の決算説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

■ 2026年6月期 第1四半期 業績ハイライト

損益計算書は以下の通りです。

- ・ 売上高:137億6600万円(前年同期比+14億9300万円)
- ・ 営業利益:16億6800万円(前年同期比+11億5800万円)
- ・ 経常利益:19億3200万円(前年同期比+19億3800万円)
- ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益:16億6300万円(前年同期比+16億400万円)

要約損益計算書（連結）



当四半期 (単位：百万円)	FY26 1Q ①	FY25 1Q ②	前期比 ①-②
売上高	13,766	12,273	+1,493
売上総利益	5,216	3,948	+1,268
販売管理費	3,548	3,437	+111
広告宣伝費 +販売促進費	1,245	1,207	+38
研究開発費	175	313	▲138
営業利益	1,668	510	+1,158
営業利益率	12.1%	4.2%	+8.0 Pt
経常利益	1,932	-6	+1,938
経常利益率	14.0%	-0.1%	+14.1 Pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,663	59	+1,604

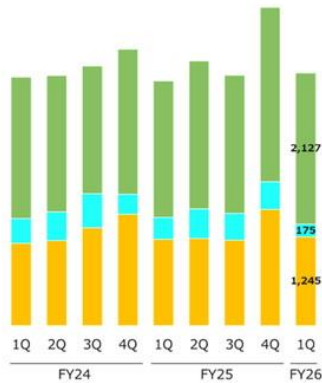
- ・ TCGやライブエンタメ、MDが順調に推移。
- ・ デジタルゲームは軟調に推移したものの、大型タイトルの発売と開発費の減少により前年同期比では増収増益。
- ・ 営業外に為替相場の変動による為替差益109百万円を計上。（2025年6月末:USD=144.81円、2025年9月末:USD=148.88円）

※ 2026年6月期第1四半期決算より、報告セグメントを「エンターテインメント事業」と「スポーツ事業」の2事業から単一セグメントに変更しております。

販売管理費の推移です。開発中のデジタルゲームの数が減少し、研究開発費が減少しました。

四半期 連結推移 -販売管理費

(百万円 / million yen)
 ■ その他の販売管理費 / Other SG&A expenses
 ■ 研究開発費 / R&D expenses
 ■ 広告宣伝費+販売促進費 / Advertising expenses + Promotion expenses



販売管理費	3,548	百万円	YoY	+110	百万円
・ 広告宣伝費 + 販売促進費	1,245	百万円	YoY	+38	百万円
・ 研究開発費	175	百万円	YoY	▲138	百万円
・ その他の 販売管理費	2,127	百万円	YoY	+210	百万円

- ・ 前年同四半期比・前四半期比で、開発中のデジタルゲームの数が減少し、研究開発費が減少。
- ・ 給与水準の上昇等により、前年同四半期比で人件費が増加。

■トピックス

続いて各トピックスをお話いたします。

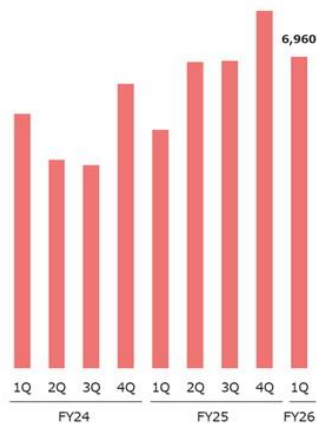
【トレーディングカードゲーム】

まず、TCG(トレーディングカードゲーム)は、売上高69億6000万円、前年同期比 プラス16億1700万円となりました。7月に、「ゴジラ カードゲーム」の日本語版と英語版、「hololive OFFICIAL CARD GAME」の英語版の販売を開始いたしました。一部前期の計上となりましたが、どちらも順調な初動です。

TRADING CARD GAME TCG

2026年6月期第1四半期トピックス

(百万円 / million yen)
 売上高 / Net sales



売上高	6,960	百万円	YoY	+1,617	百万円
-----	-------	-----	-----	--------	-----

- ・ カードファイト!! ヴァンガード・ヴァイスシュヴァルツ 引き続き順調。
- ・ 2025年7月販売開始 (一部6月(FY25 4Q)計上)
 ゴジラ カードゲーム (日本語版・英語版)・hololive OFFICIAL CARD GAME (英語版)

※企画・発売：東宝株式会社
 販売：株式会社ブシロード

※企画・発売：カパ株式会社
 販売・運営協力：株式会社ブシロード



2025年8月8日
 カードファイト!! ヴァンガード
 ブースターパック
 「電魂降臨(りゅうごんいどう)」



2025年7月18日
 ヴァイスシュヴァルツ
 ブースターパック
 Summer Pockets
 REFLECTION BLUE Re:Edit

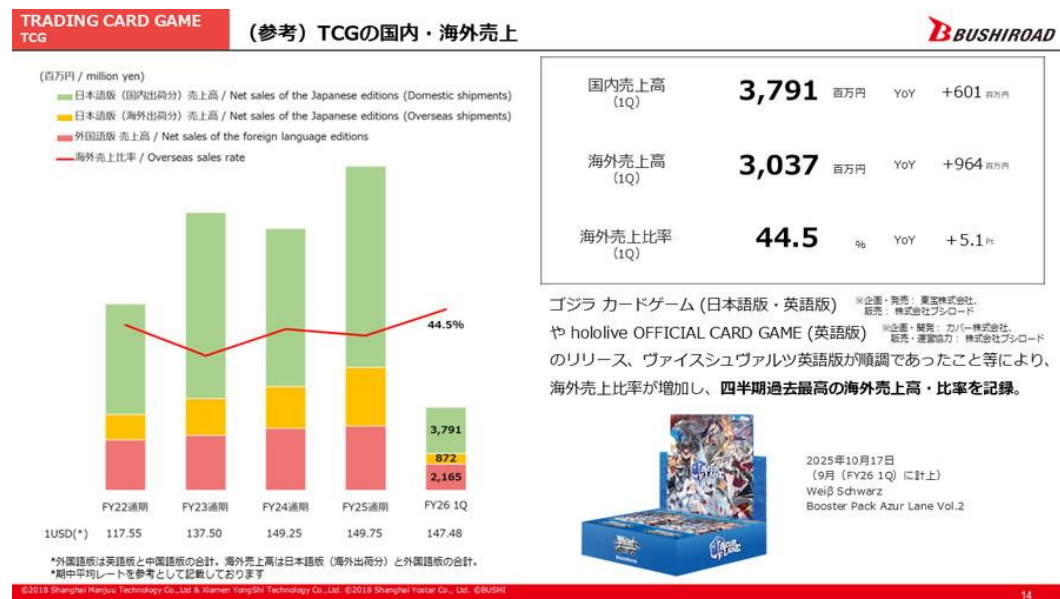


2025年7月5日
 ゴジラ カードゲーム
 ブースターパック「ゴジラVSゴジラ」



2025年7月11日
 hololive OFFICIAL CARD GAME
 Booster Pack "Blooming Radiance"

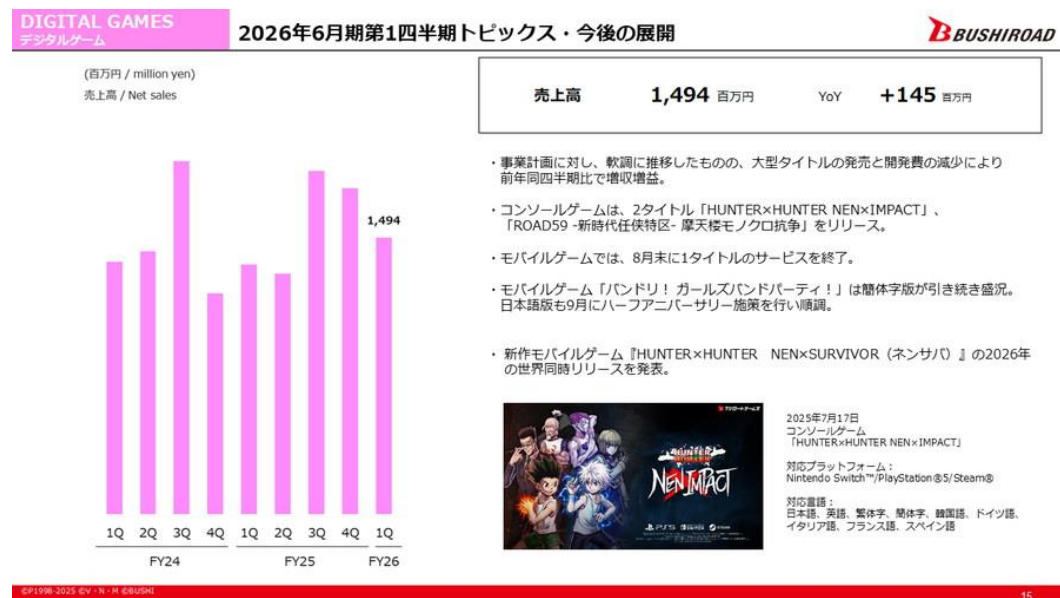
加えて、「ヴァイスシュヴァルツ」英語版が順調であったことで、海外売上高が前年同期比プラス9億6400万円の30億3700万円となり、TCGの海外売上比率が44.5%となりました。



【デジタルゲーム】

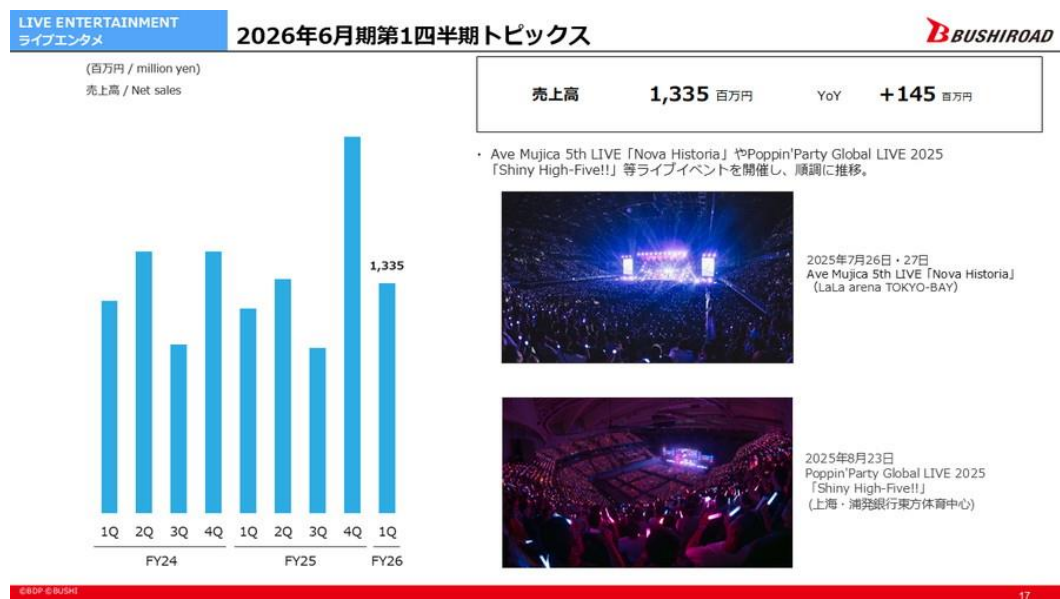
続いて、デジタルゲームは、売上高14億9400万円、前年同期比 プラス1億4500万円となりました。事業計画に対し、軟調に推移したものの、大型タイトルの発売と開発費の減少により前年同四半期比で増収増益となりました。

また、2026年に、新作モバイルゲーム『HUNTER×HUNTER NEN×SURVIVOR (ネンサバ)』の世界同時リリースをすることを発表いたしました。



【ライブエンタメ】

次に、ライブエンタメは、売上高13億3500万円、前年同期比 プラス1億4500万円となりました。ライブイベントを複数開催し、順調に推移いたしました。



こちらは第2四半期のお話になりますが、10月11日・12日に開催した、MyGO!!!!!×Ave Mujica 合同ライブ「わかれ道の、その先へ」上海追加公演では両日で3万枚超えのチケットが即日完売するなど、国内外、多くのお客様に「バンドリ！」のライブをお楽しみいただいております。

LIVE ENTERTAINMENT
ライブエンタメ

今後の展開

BUSHIROAD

● MyGO!!!!!×Ave Mujica 合同ライブ「わかれ道の、その先へ」上海追加公演

2025年10月11日・12日にMyGO!!!!!×Ave Mujica 合同ライブ「わかれ道の、その先へ」上海追加公演を開催いたしました。

両日で3万枚超のチケットが即日完売するなど、好調な集客実績となりました。

● MyGO!!!!!・Ave Mujica Singleリリース

2025年12月3日
MyGO!!!!! 8th Single「静寂想」

2025年12月10日
Ave Mujica 3rd Single「S/ The Way / Sophie」

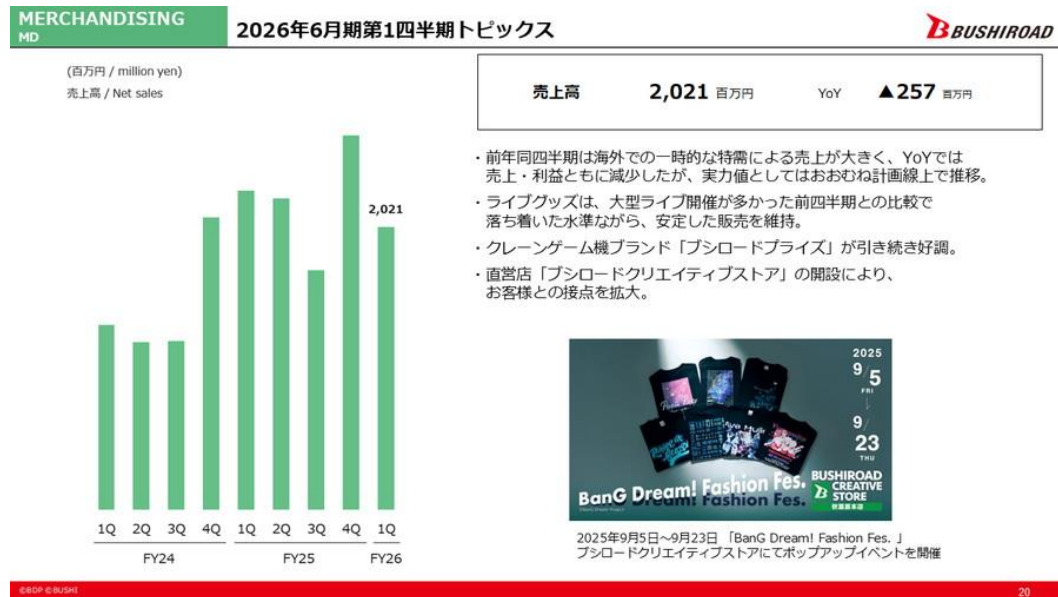
● バンドリ！プロジェクト発のバーチャル系バンド「夢限大みゅーたいぷ」TVアニメ化・47都道府県でのイベント決定

夢限大みゅーたいぷ（略称：ゆめみた）のTVアニメ『バンドリ！ ゆめみた』の2026年の放送が決定いたしました。

2025年11月より47都道府県でのイベントを開催するなど、バーチャルとリアルの両輪で発信してまいります。

【MD】

続いて、MDは売上高20億2100万円、前年同期比マイナス2億5700万円となりました。前期の第1四半期は、海外での一時的な特需による売り上げが大きく、前年同期比では売上・利益ともに減少しましたが、おおむね計画線上で推移しました。



ミニクレーン向けプライズ商品「たいにいぎふと」も好調な滑り出しとなっており、今後のパイプラインとして成長中です。

フィギュアブランド「PalVerse」は再販商品含め順調な傾向が続いています。今後は、「PalVerse」に加え、カプセルトイのボックス商品も海外展開を拡大していく予定です。

MERCHANDISING MD

今後の展開

ミニクレーン向けプライズ商品

たいにいぎふと 成長中！

2025年7月
ぶちっしゅ！ ガールズバンドクライ

2025年8月
びんぐるみ MyGO!!!!

FY26 1Q (当四半期)

- ぶちっしゅ！ ガールズバンドクライ
- ぶちっしゅ！ しかのこのこのここしたんたん
- びんぐるみ MyGO!!!!
- びんぐるみ Ave Mujica

2Q以降も継続的に多数IPのぶちっしゅ！、びんぐるみをリリース予定。
また、新しいコンセプトのぬいぐるみブランドの発表も控えています。

フィギュアブランド PalVerse 再販含め順調

2025年7月
PalVerse Palé: ブルーロック

2025年8月
PalVerse 鬼滅の刃 vol.2

ブラインドボックスの海外展開によるグローバル基盤強化

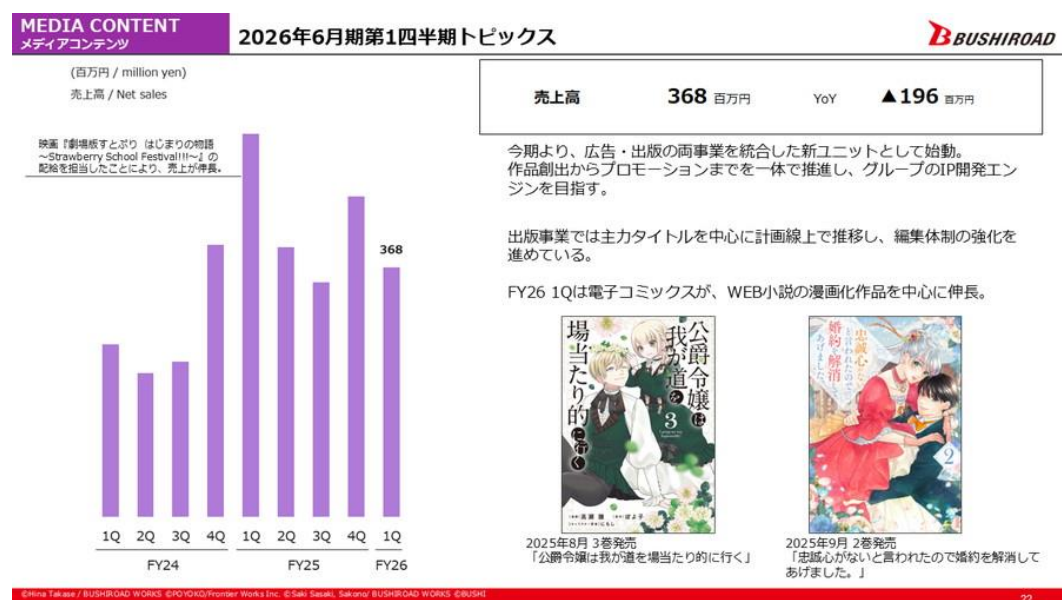
世界的に拡大するブラインドボックス市場を背景に、PalVerseに加え、カプセルトイのボックス商品も海外展開を拡大していきます。

【メディアコンテンツ】

続いて、メディアコンテンツは売上高3億6800万円、前年同期比マイナス1億9600万円となりました。

今期より、広告・出版の両事業を統合した新ユニットとして始動しました。作品創出からプロモーションまでを一体で推進し、グループのIP開発エンジンを目指してまいります。

前期の第1四半期では映画の配給を行ったため、前年同期比でマイナスとなっていますが、出版事業等は育ってきております。



【スポーツ】

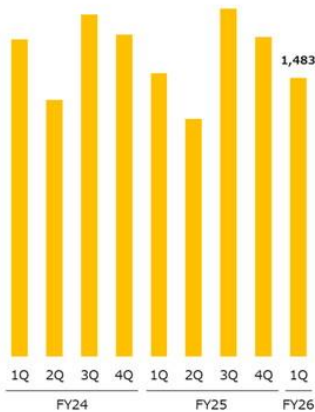
続いて、スポーツ事業は、売上高14億8300万円、前年同期比 マイナス2200万円となりました。

「新日本プロレス」では、夏の大会を実施したものの、動員減となりました。

「スターダム」は、観客動員増で増収増益となりました。TV番組『ラヴィット！』にて、上谷選手がシーズンレギュラーを務め、23年ぶりに女子プロレスが地上波で生中継をされるなど、注目が高まっています。

(百万円 / million yen)
売上高 / Net sales

売上高 1,483 百万円 YoY ▲22 百万円



新日本プロレス

・G1 CLIMAX 35等、夏の大会を実施するも、動員数はYoYで減少。

スターダム

・5★STAR GP 2025等、夏の大会を実施。YoYで動員数増加・増収増益。

・TV番組『ラヴィット!』にて、上谷選手がシーズンレギュラーを務め、23年ぶりに女子プロレスが地上波で生中継をされるなど、注目が高まる。

新日本プロレス G1 CLIMAX 35
7月19日～8月17日 全19大会

スターダム 上谷沙弥選手

第3四半期のお話となりますが、2026年1月4日の東京ドーム大会で、棚橋弘至選手の引退試合、ウルファロン選手のデビュー戦を行います。

(注記) 決算動画の公開時点で、チケット販売数は40,000枚。プレイガイド等では完売し、緊急増席が決定。

東京ドームで開催する大会では28年ぶりに超満員札止めが見えてきております。チケット未購入の方はぜひ急いでチケットのご購入をお願い致します。

FY26 3Q 2026年1月4日 東京ドーム大会
棚橋弘至 引退試合・ウルファロン デビュー戦

2026年1月4日に東京ドームにて開催される、『WRESTLE KINGDOM 20 in 東京ドーム 棚橋弘至引退』にて、棚橋弘至選手の引退試合、ウルファロン選手のデビュー戦を行います。

すでに前売り券の券売数が3万1,548枚を突破するなど(2025年11月4日時点)、多くの皆様にご注目をいただいております。

また、前四半期に引き続き棚橋弘至選手の引退に向け、『棚橋弘至ファイナルロード』を実施中です。興行に加え、動画配信やグッズ展開等のコンテンツ展開を行っています。



棚橋弘至vsオカダ・カスチカの試合が正式決定

STARDOM

FY26 2Q DREAM QUEENDOM 2025

2025年12月29日
スターダム DREAM QUEENDOM
全国同時開催にて開催スターダムの過去の同大会の券売を
上回る数にてチケット販売中。【決定カード】
◆ワールド・オブ・スターダム選手権試合
(王者) 上谷沙弥
vs
(挑戦者) 安納サオリ
◆アツちゃんの再デビュー戦も決定。

スターダムがメキシコ・CMLLと業務提携を発表

2025年10月、メキシコの専門プロレス団体「CMLL (Consejo Mundial de Lucha Libre)」の情報番組組「CMLLインフォルマ」にスターダム代表取締役社長・岡田太郎が出演し業務提携を発表しました。

CMLLと新日本プロレスは2009年に正式提携を開始して以来、15年以上にわたり強固な関係を築いてきました。今回のスターダムとの提携は、グループとしての国際的なプロレス文化交流をさらに拡大するものとなります。

本動画公開時点で『WRESTLE KINGDOM 20 in 東京ドーム 棚橋弘至引退』のチケット販売数は40,000枚です。

現在プレイガイド等では完売しておりますが、大好評につき、緊急増席が決定しております。詳細は決まり次第発表いたします。

■業績予想の進捗状況

それではここで業績予想の進捗についてご説明いたします。売上高では24.6%、営業利益では37.1%、親会社株主に帰属する当期純利益では61.6%の進捗率となりました。

デジタルゲームの収益改善や、前期の子会社同士の合併に伴い、当期の税金処理方法が一部変更になった結果、法人税等が減少したことなどにより利益率が業績予想よりも高い水準で推移しております。

2026年6月期 連結業績予想の進捗			
(百万円 / million yen)	実績 (第1四半期)	業績予想 (通期)	進捗率
売上高	13,766	56,000	24.6%
営業利益	1,668	4,500	37.1%
営業利益率	12.1%	8.0%	-
経常利益	1,932	4,600	42.0%
経常利益率	14.0%	8.2%	-
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,663	2,700	61.6%

収益性の高い商品が好調であったことやデジタルゲームの収益改善等により、業績予想よりも高い水準で推移。

前期の子会社同士の合併に伴い、当期の税金処理方法が一部変更になった結果、法人税等が減少。

■質問と回答

続いて質問に回答する形式で説明してまいります。

Q1 1Qの業績が順調だった主な要因は何ですか。

A 第1四半期の業績が順調だった主な要因は、TCG部門の売上が良かったことがあげられると思います。新規カードゲームを含め各カードゲームが順調でした。どれか一つが特別良かったというより全体的に良かったと見ています。

それからグループ全体でMDとライブエンタメが月ごとに主役交代して良い部門が出てくるという意味で、好循環が生まれたことも大きかったと思います。

それから、海外でのカードゲーム売上が好調だったこともあげられます。

全体としてどの部門が突出して良かったというよりも、やはりバランスが良かったと考えています。

Q2 TCGの市況や今後の見通しについてコメントをお願いします。

A TCGの市況ですが、ここにきてマーケット全体でタイトル数が増えすぎたこともあり、特に小売店さん等で、軟調な傾向が見られます。こうした状況を踏まえて、第2四半期はこのまま走っていくつもりですが、第3四半期以降は慎重に動きたいと考えています。特に選択と集中をより明確にし、お客様の目に見える形で当社のカードゲームが見えるように、TCG専門店のなかでのプロモーション、そしてお客様にとってのオフ会にあたるイベントにさらに力を入れていくため、いま社内で話し合っているところです。

今後のタイトルに関しては1月12日の新春発表会で、大々的な発表を行いますので、そこではかなり良いお知らせができるのではないかと考えております。気を引き締めて、脇を締めて臨んでいきたいと考えております。

Q3 今後の海外展開について教えてください。

今年は、海外展開の主軸として、「ブシロードエキスポ」を世界17ヶ所で開催しましたが来年は20ヶ所に増やしてまいります。また、Anime Expoや上海のBilibili Worldなどへの出展なども行います。今年以上に力を入れることで、北米と東アジア中心に海外市場へのアプローチを強化していきたいと考えております。

Q4 今後注目の点は何ですか。

まず1月12日の新春の発表会ですが、今年の新春発表会に比べると、非常に大ボリュームの発表内容になります。イベントの開催時間は6時間半くらいになると想定しておりますが、それだけに新しく発表できることがかなりあります。新規の発表だけでなく、今までのタイトルの新展開もかなり用意しております。チケットもほぼ売り切れてこれから2次先行が始まりますけども、現地にお越しいただければと思っています。また、YouTubeライブでの生配信も行います。まだ正月気分が抜けないかもしれませんが、ゆったりと飲みながら見ていただくのもいいかと思います。

あと新春発表会の中で「ZERO RISE(ゼロライズ)」という新しい大型IPの発表もあります。こちら楽しみにしていただきたいです。

イベントは大ボリュームの発表だけでなく、かなりエンタメ要素も多くあります。発表とイベントを交互に行いますので、会場ではかなり楽しんでいただけるのではないかと考えております。

そして、やはり"イッテンヨン"、『WRESTLE KINGDOM 20 in 東京ドーム 棚橋弘至引退』も欠かせません。本当にこれで超満員札止めになったら28年ぶりの超満員札止めとなります。プロレスの地上波の全国放送も24年ぶりです。これは本当に実現したいと思っています。もうその実現まであとわずかなかと思っております。内容的にはウルフアロン選手のデビュー戦や、棚橋選手の引退試合、それ以外にも注目すべきカードが並んでおりますので、ぜひとも注目していただきたいですね。

その他では、やはり来年は新しいアプリゲームを久々に出しますので、こちらも注目していただきたいです。「バンドリ！」も色々な展開がございますし、「ヴァンガード」も用意しております。特に「ヴァンガード」は15周年を迎えますので、色々なことをまたやっていきたいと思っておりますので、ぜひご期待ください。

それではここで"イッテンヨン"東京ドーム大会に関して、棚橋弘至選手からメッセージが届いております。

【新日本プロレスリング 棚橋弘至 社長からのメッセージ】

100年に1人の逸材、そして代表取締役社長の棚橋弘至です。来年2026年1月4日、僕の引退試合が東京ドームであります。

ありがたいことに、多くのお客様にチケットをご購入いただいております。当日は必ず盛り上がる予感しかشませんが、この大会で僕を見に来てくれた多くの方に新日本プロレスで戦っているトップの現役選手たちを紹介できることを嬉しく思います。この大会をきっかけに新日本プロレスはさらなる盛り上がりを見せていきたいと考えております。皆様ぜひドームに足を運んでください。

それでは最後にブシロードグループを応援してくださっている皆様、愛してまーす！

いやぁ"イッテンヨン"、実に期待できますね。私も1プロレスファンとしても本当に楽しみにしています！

第1四半期は予想以上に良い結果が残せたと考えておりますが、第2四半期以降も気を引き締めてしっかりと頑張っていきたいと思いますので、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。